

2019年2月15日

報道関係各位

東海大学

【ご取材のお願い】

プログラミング力を発揮！自信作のマイコンカーでスピードと正確さを競う！
「東海大学 CHALLENGE CUP 2019 第7回マイコンカーラリー熊本大会」開催
～小・中学生対象「マイコンレーサー・プログラム入門教室」も同時開催～

日時：2019年2月23日（土）10：00～16：30

会場：東海大学熊本キャンパス 2号館 4階 2401 教室（熊本市東区渡鹿 9-1-1）

東海大学[九州キャンパス]（所在地：熊本市東区渡鹿 9-1-1、学長：山田 清志〔やまだ きよし〕）
基盤工学部、ならびに本学チャレンジセンターの学生プロジェクト「先端技術コミュニティ ACOT
（以下 ACOT）」と「メカトロマイスタープロジェクト」では、来る2月23日（土）10：00より、
「東海大学 CHALLENGE CUP 2019 第7回マイコンカーラリー熊本大会」を開催いたします。

本大会は、マイコンカーラリーが盛んでありながら開催される大会数が少ない熊本県において、大会の機会を増やすとともに、電子工作やプログラミングの面白さを伝えようと、2013年から毎年開催しているものです。カテゴリーは、高度なプログラミング技術を要する「Advanced Class」と参加資格に制限のない「Basic Class」の2クラス。「Advanced Class」はさらに、高校1・2年生のみ参加可能な「高校生新人の部」と高校生・大学生・社会人が対象の「一般の部」に分かれます。参加者は、実行委員会規定のマイコンボードを載せて独自に製作・プログラミングしたマイコンカーを使用し、直線やクランク、S字カーブ、レーンチェンジなどが設けられた、幅30cm、長さ約50mのコースで走行精度やタイムを競います。



▲昨年の大会の様様

また当日は、小・中学生を対象にした「マイコンレーサー・プログラム入門教室」も同時開催。この講習会では、プログラミング初心者向けの市販マイコンカーキット「マイコンレーサー2」を使ってプログラミングの基礎を学ぶほか、大会で使用しているコースでの試走も体験します。

本学では、総合学園としてのリソースを活用し、集いと交流をとおして教育・研究の成果を広く社会に還元することで、よりよい地域づくりに貢献していきたいと考えています。本イベントもそうした取り組みの一環として開催されるものです。

つきましては、次頁の概要にて開催いたしますので、ご取材いただければ幸いです。ご検討の程、宜しくお願いたします。

※誠に恐縮ではございますが、諸準備の関係上、当日ご取材いただける場合は、事前に下記担当者までご一報いただければ幸いです。

<この件に関するお問い合わせ>

東海大学チャレンジカップ実行委員会事務局 担当：福岡
TEL.096-386-2621 / Email. tokai_challenge_cup@ml.tokai-u.jp

■「東海大学 CHALLENGE CUP 2019 第7回マイコンカーラリー熊本大会」開催概要

- 日 時 : 2019年2月23日(土) 10:00~16:30
※報道受付は、9:30より現地にて
- 会 場 : 東海大学熊本キャンパス 2号館 4階 2401教室 (熊本市東区渡鹿 9-1-1)
- 内 容 : 本学チャレンジカップ実行委員会が規定したマイコンボードを搭載し、独自に製作・プログラミングしたマイコンカーで規定のコースを完走するスピードを競います。予選フリー走行は制限時間内で何回も走ることができ、その中のベストタイムで予選順位が決定。予選の成績上位者が決勝トーナメントに進みます。
- スケジュール : 9:30 受付
10:00 開会式
10:10 予選フリー走行
14:30 決勝トーナメント
16:10 表彰・閉会式
※決勝トーナメント及び表彰は、予選走行の状況により前後することがあります。
- カ テ ゴ リ ー : ◇Advanced Class
・高校生新人の部 高校1・2年に在籍する方
・一般の部 高校生、大学生、社会人の方
◇Basic Class 参加資格制限なし
- 参 加 者 : ◇Advanced Class
・高校生新人の部 10校 46名
・一般の部 34名
◇Basic Class 30名
- 主 催 : 東海大学熊本キャンパス
- 主 管 : 東海大学チャレンジカップ実行委員会
- 後 援 : 熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県工業連合会、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、くまもと県民テレビ、熊本朝日放送、J:COM熊本、熊本シティエフエム、エフエム・クマモト

■「マイコンレーサー・プログラム入門教室(小学生高学年~中学生対象)」開催概要

- 日 時 : 2019年2月23日(土) 10:00~13:00
- 会 場 : 本学熊本キャンパス新1号館 5階メディアラボ (熊本市東区渡鹿 9-1-1)
※見学・試走は、大会会場の2号館4階に移動します。
- 参 加 者 : 小学生4名、中学生4名、合計8名
- 内 容 : 「マイコンレーサー2」(ルネサス製R8Cワンチップマイコン使用)を使ったプログラム入門教室。センサーの情報をもとにモーターを動かしながら、計測と制御およびプログラミングの基礎を学びます。
優秀修了者にはマイコンレーサー2を贈呈。(5名程度)
- スケジュール : 9:30 受付
10:00 講習会
12:00 見学・試走
13:00 終了

■東海大学チャレンジセンターについて

東海大学では、社会的実践力を培う成長の場として「チャレンジセンター」を設置しています。チャレンジセンターでは、学生が主体となって企画を作り上げメンバーを募るプロジェクトや、センターが提案する活動テーマに賛同した学生が集まって企画を構築していくプロジェクトなど、多彩なプロジェクト活動を展開。学部の枠を超えて集まった学生たちはそうした活動を進めていく過程で、社会で活躍するために必要な「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を身につけていきます。

■チャレンジプロジェクト「先端技術コミュニティ ACOT」について

基盤工学部の学生が中心となり、太陽光発電で蓄電した電気を使って構内の桜をライトアップするなど、地域との連携を図りながらさまざまな活動を行っています。また、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークなどの分野についても研究・開発を重ね、ロボットプログラミングコンテストやアプリ開発コンテストに出場するなど、技術の向上にも努めています。昨年8月には、ロボット工作やプログラミングに興味を持つ高校生を応援する「WRO Japan 2018 高校生 九州・山口地区大会」（主催：東海大学基盤工学部）を全面的に支援しました。

■チャレンジプロジェクト「メカトロマイスタープロジェクト」について

ソーラーカーを製作・改良するチームと、レスキューロボットを製作するチームに分かれ、それぞれ大会出場を目指して活動するほか、幼稚園や小学校への出前授業、地域イベントへの出展など、子どもたちに“ものづくりの楽しさ”を伝える活動も行っています。ソーラーカーチームは、昨年8月に秋田県で開催された「ワールド・グリーン・チャレンジ 2018 ソーラーカー・ラリー」の「ソーラーカー・チャレンジ アドベンチャー・クラス」にて第2位の成績を収めました。

■案内図

【アクセスマップ】



<JR>

・「熊本」駅から JR 豊肥本線で 5 つ目の「東海学園前」駅下車、駅正面

<車>

・九州自動車道「熊本 IC」で下り、東バイパスを 5 キロほど南下して北バイパス方面へ右折、さらに 1 つ目の信号を左折後約 2 キロ直進、左側。約 15 分

<バス>

・九州産交バス（供合線）熊本交通センター発「東海学園前」下車 徒歩 1 分

【キャンパスマップ】



大会 会場(報道受付)
2 号館 4 階 2401 教室

入門教室 会場
新 1 号館 5 階メディアラボ